



■□■ショートコメント■□■

◆インド映画『バーフバリ 王の凱旋』(17年) (『シネマ41』141頁) が爆発的大ヒット！ それを受けて、チラシには『バーフバリ』2部作誕生の原点として、日本公開が待望されていたラージャマウリ監督の伝説的傑作がついに公開決定！」の文字が躍り、2009年製作の本作がテアトル梅田で公開された。

◆しかし、予想通り観客はまばら。しかも、映画の内容も、「これがインド映画！」「これがマハラジャ！」と言われていた昔に戻っただけのものだったから、“柳の下の2匹目のどじょう”を狙った本企画は完全に失敗！

◆「4月来日時、日本のファンの熱狂ぶりに感動したラージャマウリ監督は、自身の代表作である本作の日本での上映を熱望、帰国直後自ら再編集を行い、日本公開のためにディレクターズ・カット国際版を完成させた」そうだが、そりゃちょっと厚かましすぎたのでは・・・？

2018 (平成30) 年9月6日記